

第1節 独占的市場構造の特徴

競争的市場における

部門内競争：小規模で多数の資本の存在

個々の資本は価格_____を持たない

部門間競争：部門間資本移動が容易

ある部門で需給の変化による利潤率変化

⇒参入または退出による資本と労働の_____

⇒利潤率の_____傾向

第1節の課題：資本の集積・集中の進展は市場構造にどのような変化を与えるか？

(1) 高い市場集中度

資本の集積・集中によって部門内の企業数の減少

→部門内企業の市場占有率(market share)の平均の_____

各企業の生産規模の大小

→個々の企業の市場占有率の_____

市場集中度：市場構造の変化を示す指標。部門内の企業数と上位企業の市場占有率によって測定

資本の集積・集中⇒市場集中度の_____

市場集中度が低い場合に比べて

(a) 個々の企業の生産量の増減

→供給総量に大きな影響→_____に影響

競争下では1企業の供給制限→他企業の供給_____

(b) 企業間における協調

企業数減少は協調成立の可能性を_____

*部門内競争を制限し 部門内企業が価格を支配する可能性

ただし、_____は制限できていない

⇒価格支配は一時的・短期的な可能性にとどまる

価格支配と平均以上の高い利潤率とを長期にわたって実現できるかどうか

＝部門内における競争とともに、部門外の企業の_____をいかに制限できるか

(2) 参入障壁

① 潜在的な参入可能性をもつ企業

(a) 最低必要資本量の膨大化

その部門の平均的な_____と_____が必要

(b) 既存企業の優位性

既存企業は販売網・運輸網、継続的・累積的な販売促進活動

参入のためにはこれら巨額の資本投下が不可欠

*参入のための巨額の資金準備ができる企業は？

＝他部門において_____な地位にあり、巨額の利潤を獲得している巨大企業に限定

参入障壁：他部門からの参入を制限する諸要因⇒_____競争の制限

② 3種類の参入障壁

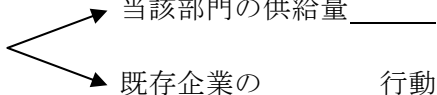
参入決定の基準

潜在的参入企業がある部門に現実に参加するか否かを決定する場合の基準はなにか？

現行利潤率？

参入の実行⇒巨額の資本の_____

長期平均的な利潤率？

参入の実行 

⇒参入後の実現利潤率は_____する可能性

参入期待利潤率：参入によって_____に実現できると期待される利潤率

(参入による需給の変化と既存企業の対抗的行動を考慮)

潜在的参入企業は参入期待利潤率を予想しその水準によって参入するか否かを決定

参入障壁：参入期待利潤率を現行利潤率よりも _____ させる諸要因

(A) 生産能力と市場規模との関係 — 参入障壁(A)

「最小必要生産能力」の膨大化

独占的市場構造が形成されている部門＝生産設備 1 セットが _____

参入による生産設備の増加

→その生産部門の供給能力を _____ に増加

→価格または設備稼働率の大幅な _____

(稼働率の低下→生産物 1 単位当たり _____ 費用増加)

⇒参入期待利潤率の大幅な低下

*その部門への需要が変化⇒高さが _____

(B) 既存企業のコスト面での優位性 — 参入障壁(B)

既存企業は一般にコスト面で優位性を持つ

(a) 生産技術の排他的利用(特許や秘密保持)

(b) 原料資源の占有・原料部門の兼営等

(c) 流通組織・運輸機関等の独占的支配

(d) 広告・宣伝の継続的・累積的效果

(これらは企業のグループ化の誘因・優位性)

*その部門への需要が変化⇒高さは _____

(C) 既存企業の闘争的対抗手段の可能性 — 参入障壁(C)

(A)・(B) 要因を既存企業が参入企業に対する意図的な対抗手段として利用

(CA) 余裕能力を利用して意図的に供給増大

余裕能力：独占企業は需要規模より大きめの生産能力を保有

⇒小幅の需要の変動に対して _____ の調整によって対応

参入による供給能力増大+既存企業の意図的な供給増大→価格・稼働率の _____ →利潤率の _____

(C_B)上の(C_A)要因以外のすべての対抗手段

既存企業が(B)の優位性を武器に対抗

例：参入企業の広告宣伝活動に対する既存企業の対抗的な広告宣伝活動

潜在的参入企業は既存企業の _____ を考慮して参入期待利潤率を推計する必要

(3) 独占的市場構造

① 独占的市場構造とは？

独占的市場構造：

高い市場集中度と参入障壁→部門内競争と部門間競争の制限が可能

⇒競争が全面的に支配した場合に比べて高い価格を _____ 維持することが可能

=平均より高い利潤率の _____ 実現が可能

② 独占的市場構造の成立する部門

独占的市場構造が形成されるのは

生産力の _____ ・最低必要資本量の _____ ⇔資本の集積・集中

これらが相互促進的に急激に進展⇒高い市場集中度と高い参入障壁を形成

つまり、大量生産による多量の利潤獲得⇔生産力の急速な _____ が進む部門

*需要が大量かつ恒常的な生産部門

③ 一国経済における独占部門と競争部門

資本の集積・集中と最低必要資本量の増大は不均等的に進展する

独占部門

大型労働手段(産業機械、重電機器・・・)

基幹的・基礎的原材料(鉄鋼、電力、石油・・・)

大量で均質的需要のある消費手段(自動車・・・)

ただし市場集中度と参入障壁の高さは

競争部門

汎用的な機械・工具、部品・・・

嗜好や流行に左右される消費手段・奢侈品・・・

④ 独占的市場構造と競争

独占的市場構造のもとでの協調による価格支配は、決して固定的・恒久的なものではない

(a) その部門の需要が何らかの理由で急速に大幅な拡大をする場合

⇒参入障壁_____の低下

(b) 既存企業の外部での新技術の開発

開発された技術の排他的利用による参入

⇒参入障壁_____の低下

参入とそれにもとづく競争の現実化

独占的協調は競争を完全に廃絶するものではない